

ザンビアでの1年間の医療活動報告

～アフリカの地域で医師に求められること～

報告者：三好康広さん
(Zimba Mission Hospital：医師)

<報告者プロフィール>

1983年愛媛県松山市生まれ。長崎大学医学部卒。学生時代に1年間途上国放浪の旅に出る。アフリカ大陸を4ヶ月かけて縦断。アフリカの貧困を目の当たりに。ケニアで体調を崩し、南スーダンからの難民の家で一週間看病してもらう経験をし、その恩返しのため、アフリカで医師として貢献したいと思うようになる。7年間日本で内科、整形外科、産婦人科を中心に研修後、2016年5月よりザンビアに移住。同年7月より Zimba Mission Hospital に勤務。

<内 容>

年間 1629 分娩、帝王切開 305 例(昨年のデータ)ある病院で、産婦人科・新生児科の管理を医師一人で行っています。医療アクセスの悪さにより、日本では見たことがないような重症な患者さんと日々向き合っています。HIV、レイプ、伝統医療の弊害など、日々直面している問題について、ご報告させていただきます。

◇と き： 7 月 4 日 (火)

午後 7:00~9:00

(開始5分前までにお越し下さい)

◇ところ：徳島大学日亜メディカルホール
(蔵本キャンパス西病棟 1 1 階)

◇参加費

：無料

◇予 約

：不要



お問い合わせ：TICO事務局(担当：福士)
〒779-3403 徳島県吉野川市山川町前川 212-6
TEL:090-7786-3193/FAX:0883-42-5527